



朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和7年 4月 30日(水)

5月号 児童数 411名

TEL: 048-466-4481

<http://www.asakadai9shou.city-asaka.ed.jp>

【学校教育目標】「心豊かでたくましい人間の育成」

すすんで学ぶ子

思いやりのある子

たくましい子

【めざす学校像】「元気なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」



「うそをつかず、正直に！」

～イソップ寓話「オオカミと少年より～」



校長 小林 美加

4月初旬に満開を迎えた花壇の花や校庭の桜に変わり、校舎の前のツツジが花を付け始めました。校地内では、今年度も藤棚のフジなど季節ごとに花が咲き、校歌にある「あたたかい 四季の花」に囲まれた学校を感じることができています。新年度がスタートして、まもなく1か月になります。1年生も給食がはじまり、通常日課となりました。全校の子供達も落ち着いた様子で学習に取り組み、休み時間は広い校庭で思いっきり遊ぶ姿が見られます。

先日は、ご多用の中、授業参観・懇談会(6年修学旅行説明会)にお越しいただきありがとうございます。多くの保護者の方に来ていただくことができて、とても嬉しく思いました。今後も、子供達の幸せとよりよい成長のために、保護者の皆様と連絡を取り合いながら、相互に理解を深め、共有していけるように、教職員一同、努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、先日の全校朝会では、「オオカミと少年～イソップ寓話～」という話をしました。

概要は、「羊を守る仕事を任されていた少年は、毎日同じことをしていると退屈になってしまい、村人たちに『オオカミが来た！』と嘘をつきました。村人たちは慌てて少年のところへ駆けつけましたが、オオカミはいませんでした。少年はその様子を見て笑いました。数日後、本当にオオカミが現れ、少年は再び『オオカミが来た！』と叫びましたが、村人たちはもう少年の言葉を信じませんでした。結果として、オオカミは羊を襲い、少年は大切な羊を失ってしまいました。」というお話です。

このお話を通して、嘘をつく、たとえ本当の事を言っても、誰も信じてくれない、普段から嘘をついていると信用がなくなって、本当に困った時に助けてもらえなくなるので、嘘はつかないことを伝えました。また、いたずらはいじめと同じであること、ちょっとからかうつもり、おもしろいから、ふざけただけということは、あってはならないことであるとも伝えました。

これからも、先生とクラスの仲間と一緒に、周りに感謝の気持ちをもって、正直で、助け合うことのできる素敵なクラスをつくってほしいと思います。ご家庭でも、子供達の様子をよく見ていただき、お声掛けしていただくなど、ご協力の程よろしくお願いいたします。

いよいよ、楽しみにしていたゴールデンウィークを迎えます。頑張っていた子供達にも疲れが見られます。楽しい計画もあるかと思いますが、心と体をしっかり休めるとともに、交通事故やけが、体調に気をつけてお過ごしください。5月もどうぞよろしくお願いいたします。